

ホーチミン市都市鉄道建設計画（ベンタインスオイティエン間（1号線））【ベトナム】

施策所管局課 国別開発協力第一課
 評価年月日 平成29年4月

| | |
|----------------------------------|--|
| 1 案件概要 | |
| (1) 供与国名 | ベトナム |
| (2) 案件名 | ホーチミン市都市鉄道建設計画（ベンタインスオイティエン間（1号線）） |
| (3) 目的・事業内容 * 閣議決定日、供与条件などを含む | <p>ホーチミン市において、都市鉄道を建設することにより、増加する輸送需要への対応を図り、もってホーチミン都市圏の交通渋滞及び大気汚染の緩和を通じ、地域経済の発展及び都市環境の改善に寄与するもの。</p> <p>案件の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土木工事 ・資機材調達 ・コンサルティングサービス <p>ア 閣議決定日：平成19年3月30日 イ 供与限度額：208.87億円 ウ 金利：0.4% エ 償還（据置）期間：40（10）年 オ 調達条件：日本タイド</p> |
| 2 事業の評価 | |
| (1) 経緯・現状 | <p>ア 社会ニーズの現状</p> <p>本事業計画当初、ホーチミン市は人口670万人（2006年）、バイク数が290万台、及び自動車数が29万台（2006年）であり、以降も増加が見込まれ、2020年には交通渋滞により、自動車の平均速度が13.3km/hまで悪化すると予測されていた。交通渋滞による大気汚染も深刻であり、窒素酸化物濃度も基準値を上回る0.4～0.6mg/m³（2000年）であった。現在ホーチミン市の人口は842万人（2016年）、バイク数が740万台、自動車数が64万台（2016年）まで増加している。また、メトロの路線を含む代替公共交通手段も未だ整備が進んでおらず、幹線道路沿いでは浮遊粒子状物質が環境基準の1.2～2.2倍の数値を記録している。従って、交通渋滞及び交通渋滞に起因する問題への対応は引き続き必要であるため、現在も本事業に関する社会的ニーズは変わらない。</p> <p>イ 事業遅延に関する経緯・現状</p> <p>用地取得遅延及び調達手続きの遅れにより遅延が生じたが、現在事業は順調に進められている。</p> |
| (2) 今後の対応方針 | <p>本件に関する社会的ニーズに変化は見られず、事業完成後は当初予定どおりの効果が見込まれており、事業進捗を妨げていた要因は解決していることから、引き続き支援を継続していく。</p> |
| 3 政策評価を行う過程において使用した資料等 | <ul style="list-style-type: none"> ・交換公文 ・外務省の約束状況に関する資料及び案件概要 http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/data/zyoukyou.html ・国際協力機構の案件検索 http://www2.jica.go.jp/ja/yen_loan/index.php ・国際協力機構の事業事前評価表 http://www.jica.go.jp/activities/evaluation/before.html ・そのほか国際協力機構から提出された資料 |

